

看護におけるコンピュータ活用

コーディネーター 北里大学看護学部 小林 信

近年、コンピュータ技術はさまざまな分野への応用はめざましいものがあります。もちろん、医療・看護分野も例外ではありません。高度な分析・診断機器以外にも「電子カルテ」に代表されるクライアント情報のコンピュータ管理など、看護師にとってもそれらの技術の進歩は身近に感じられることも多いのではないのでしょうか。また、インターネットや電子メールの普及は、個人の情報発信にも大きな変化をもたらし、今や「看護」というキーワードで検索すれば、何千何万もの情報を手に入れることが出来る時代でもあります。しかし、本来看護サービスの質の向上を目的としたそれらの技術も、「難しい」、「面倒くさい」、「使い道が分からない」などの理由で敬遠されたり、逆に手間がかかったりする状況も少なからず存在しているのも事実でしょう。

交流セッション前半は、現在すでに最先端のコンピュータ技術を駆使し、看護実践や研究・教育の質の向上に取り組んでいる方々からの実践の報告です。日本看護協会の柳田氏は看護の職能団体のホームページ構築や運営の苦心談、意図するところなど、長野県看護大学の前田氏は看護教育や看護研究におけるコンピュータ活用の工夫や理念などを、前東京大学医学部附属病院（現国立看護大学校）の柏木氏は、新病院建設に伴うコンピュータシステム構築に看護の立場でどのように関わったかなどをプレゼンテーションしていただきます。後半は、「すでにコンピュータを利用しているが、もっと有効に活用したい」、「今後導入を検討しているがどのような利用方法や可能性があるのだろう」といった疑問をお持ちの参加者が、プレゼンターや他の参加者と気軽に意見・情報交換しながら、ヒントを得られるような場にしたいと考えています。どうぞふるってご参加下さい。

プレゼンター

柏木 公一 国立看護大学校
前田 樹海 長野県看護大学
柳田 征宏 社団法人日本看護協会